

第４学年「体育」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果** ○ 体育の時間を楽しみにし、授業では生き生きと取り組める児童が多い。
○ 簡単なルールを守り、ゲームをすることができる。
- 課題** ▼ 運動領域によって強い苦手意識をもっている児童がいる。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ どの領域でも、基本的な動きや技能を高める。
- ◇ 課題に向かって主体的に取り組む態度を養う。

具体的な改善策

- いろいろな動きや運動に対応できるように、走る、跳ぶ、支持、柔軟性などの体ほぐし運動を授業の始めに取り入れる。
- 個の能力に応じたためあてをもてるように学習カードを活用し、スモールステップで課題に取り組ませる工夫をする。

達成目標

- 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
- 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。